

70 10月 園だより

ホームページ <https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/minamisenju2/index.html>



南千住の街から学ぶ

園長 立石 晃子

2学期が始まり1か月が経ち、園生活を含めた生活リズムを取り戻してきたように感じられます。しかしながら今まで体験したことのない猛暑、残暑に、子供も大人もうんざりする毎日でした。「暑さ寒さも彼岸まで」とようやく気温も下がってきましたので、引き続き体調管理に気を配りながら、秋の園生活を充実して過ごしていきたいです。

私が園長に着任してから、園に集う皆様が地域のよさを知り、地域の教育力を活かした教育活動を展開していきたいと考え、取り組んでまいりました。今年度も、あらかじめサイクルセンター、JR隅田川駅、東京都立産業技術高等専門学校へ赴き、その施設が担っている役割を知るとともに、南千住という地域の特徴を学ぶことができました。9月20日(金)は年長組親子で東京都交通局南千住自動車営業所にうかがいました。都営バスに乗車させてもらったり、空気の十分なタイヤと少ないタイヤを叩き音の違いを体験させていただいたり、バスの仕組みを見せていただいたりしました。バスの運転席からの死角や左折時の巻き込みの様子からバスに近付くと危ないことを知ることができました。併せて南千住警察署交通課の皆様にもご協力いただき、子供は飛出し事故が一番多いこと、周りに気付いてもらえるように手を挙げて横断歩道を渡ることなど、交通安全教室を行っていただきました。



園でも毎月安全指導を行っていますが、実際に街の安全を守っている皆様からの言葉や体験はよりしっかりと記憶に残ります。子供たちからは「うんてんせきにすわったらしたがみえなかった」「バスのちかくにいくとひかれちゃうかもしれないからちゅういします」といった感想が聞かれました。今回、東京都交通局の皆様および南千住警察署の皆様にはこのような機会をつくってください、感謝申し上げます。



楽しいこといっぱい！子どもたちの園生活

< 3 歳もも組 >

「もう 1 回やろう！」先生や友達と一緒にだと楽しいね

先日のなかよし会では、祖父母の方々の前で緊張しながらもかわいらしい歌を聴かせてくれた子供たち。保育室でも参加された祖父母の方々とリズム遊びや好きな遊びをたくさん楽しみ、ほっこりとする時間を過ごすことができました。

暑い日が続く 9 月でしたが、天気を見ながら子供たちは、園庭で「よーい、ピー(笛の合図)！」の合図で走ったり、鬼遊びをしたりと、思い切り体を動かして遊ぶことの楽しさや、心地よさを感じながら遊んでいます。10 月は初めての運動会があります。「運動会って何だろう？」と言うところから、初めての運動会に向けて、年中児や年長児と一緒に体を動かし練習する姿に憧れを抱く中で、年少なりにイメージや期待を膨らませて、教師や友達と楽しく参加できるように取り組んでいきます。

< 4 歳たんぼぼ組 >

秋の風の中、のびのび体を動かそう！

夏休み明け、元気な子供たちの声がたんぼぼ組に戻ってきました。『夏休みの思い出』の発表では、みんなの前で絵や写真を見ながら一人ひとりが楽しかった夏休みの話を聞かせてくれました。夏休みを通してひとまわりもふたまわりも成長したように感じました。

なかよし会では初めて鈴を使って『きらきら星』を演奏したり、祖父母の皆さんと『肩たたき』や『カードジャンケン』などのふれあい遊びを楽しんだりしました。

運動会へ向けての取り組みも始まっています。リズムの『海賊スパローの冒険』はお気に入りで、曲に合わせて元気いっぱい笑顔いっぱいで踊ったり、グループごとの海賊船作りをしたりしました。かけっこや玉入れもにも取り組んでいます。疲れが出やすい時期なので、好きな遊びをじっくり楽しむ時間も大事にしていきながら、様々な活動を通して、友達と一緒に取り組む楽しさが感じられるよう援助していきます。

< 5 歳ばら組 >

運動会、力を合わせて頑張るぞ！！

幼稚園最後の運動会に向けみんなで全力で取り組んでいます。幼稚園で 1 番大きな年長組として、自分たちの役割を考えながら行っています。「どんな運動会にしたい？」と担任が聞くと「楽しい運動会！」「かっこいい運動会！」などと話が出てきました。「どうしたらそうなるか考えてみよう！」と昨年度の運動会を振り返りながら、たくさん“ばらぐみかいぎ”を行いました。

好きな遊びの時間でも取り組めるように、鉄棒や跳び箱を準備すると、始めは「できないからやらない」と言った声も聞こえましたが、毎日チャレンジして「先生、見てて！できるようになったよ！！」と、とっても嬉しそうな声がたくさん聞こえるようになってからは「私もやってみる！」と、頑張る姿が見られるようになりました。それぞれの得意なことや苦手なことを受け止め、一人ひとりの頑張っている姿やその過程を十分に認めて自信につなげ、他学年との交流に活かしたり、小学生との交流とも合わせて就学への期待につなげたりしていきます。